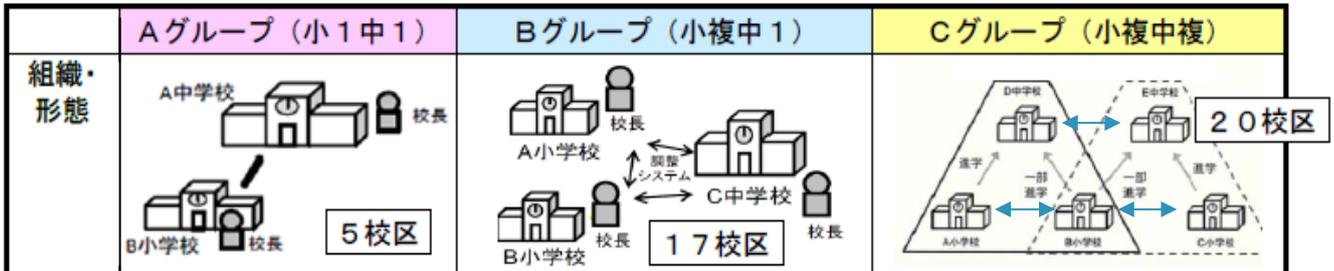


令和5年度(2023年度)小中一貫校への移行について

① グループ分けと主な取組について



		小中一貫教育及び小中連携教育の主な取組		
		A	B	C
一貫	① 中学校卒業時点での「目指す子ども像」を共有	○	○	○
	② 9年間を通した小中一貫教育目標の設定	○	○	—
	③ 9年間の小中一貫カリキュラムの編成・実施	○	○	—
	④ 小学校高学年の一部教科担任制の継続(交換授業の推進)	○	○	○
	⑤ 小中学校間での乗り入れ授業	○	△	—
	⑥ 小中合同行事の開催(例:運動会、文化発表会など)	○	△	—
連携	⑦ 学習や生活のルールを小中学校間で共有し共通実践(連携カリキュラム)	○	○	○
	⑧ 小中学校間で児童生徒の情報を共有し、児童生徒支援に活用	○	○	○
	⑨ 小中学校が合同で学力テスト等の分析を行い、結果を授業づくりに活用	○	○	○

※ ○: 中が校区の実態に応じた取組必須, △: 中学校区の実態に応じて取組可, —: 取組は厳しい

② 熊本市の小中一貫校への移行について

年度	R3	R4	R5	R6	R7
Aグループ (小1中1)	小中一貫校(富合・芳野・河内・江南・二岡)				
Bグループ (小複中1)	モデル校	小中一貫校(江原)			
		小中一貫校(天明)			
	モデル校	小中一貫校(植木北)		
	タブレット端末活用モデル校	小中一貫校(楠)		
	モデル校 (下益城城南・城南・五霊・鹿南)	小中一貫校			
	モデル校 (4~5中学校区予定)	小中一貫校			
			モデル校 (4~5中学校区予定)	小中一貫校	

※ 校区は中学校区で記載